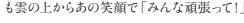


横田さんの思い出

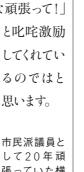
┤→ 日、ある中学校に伺い、主権者教育の 大 授業でお話し、自分が議員になった きっかけとして、故横田議員の想いを受けつい だ事に触れました。授業が終わった後に担任 の先生が、「横田さんにとてもお世話になったん です…!」と涙を流して言われました。これまで もいろんな所で、こんな風に横田さんのことを 語る方に出会ってきましたが、その度に、温かく 明るく、いつも社会と政治に溌溂と向き合ってお られた横田さんの姿が蘇ってくるように感じま す。突然のお別れから5年が経ちますが、今で





と叱咤激励 してくれてい るのではと 思います。

して20年頑 張っていた横 田さん。子ど も達への眼差 しはひときわ 温かいもので





マスクも



10.21 中学校参観日、竹枝を思う会会議 10.22 STOP!性暴力の会定例会

日々のうごき

10.19 学校給食署名活動開始

2020年10月~

2021年1月

10.23 たねをまもる会おかやま会議 10.26 高校魅力化プログラム報告会

10.27 教育再生子ども応援特別委員会県

~29 外調査@熊本



10.3 みどり岡山会議

10.31 [omoや545] プレオープン @御津五城

竹枝かいぼり調査、 御津公民館祭り& ししまいフェスタ 11.2 意見を伝える会

@東備支援学校. 若者就職応援センター視察

11.3 生活保護の勉強会online. ぐるーんカフェ動画作成

11.4 原発災害の講演 @岡山県退職女性教職員の会



特別委員会県内調査(倉敷南高校、 天城中学校、早島支援学校)

11.7 建部中学校50周年記念式典 福島原発おかやま訴訟原告団会議

11.8 西東京市こども条例講演会online、 11.29 犯罪被害者支援講演会@VSCO、

DV加害者プログラムシンポジウム online

11.10 カフェ準備会@岡山御津高校、 たけべ家おこしプロジェクト

11.11 たけべ中学生だっぴ準備会 フラワーデモ@岡山駅前

11.12 岡山県学校給食会訪問、しょうがい 児教育の県懇談会のたんぽぽネット ワーク、災害支援ネットワークおかや ま被災家屋部会

11.13 常任委員会(環境文化保健福祉)

11.14 県政市政おはなし会@勤福

11.15 立憲民主党岡山県総支部連合会 結成大会

11.16 県民局カフェ事業相談、 3・11への祈り宝行委員会

11.17 学校給食について市議会議長 議員訪問

11.18 五城村窓つけ丁事

11.20 常任委員会、代表質問読みあわせ

11.21 ICOI設立10周年記念大会、 結婚記念日

11.23 津山東高シノノメキッチン

11.24 特別委員会、 ムギの品種勉強会@村松幹夫氏



11.25 竹枝保育園発表会、 たけべ中学生だっぴ

11.26 剪定作業@竹枝小

11.28 おもちつきの会@竹材

インクルーシブ教育勉強会@寺脇 研氏

11.30 11月議会開会

12.2 神奈川県厚木西高校ヒアリング 12.3 代表質問(中川議員)、地域公共セミ ナー@岡山大学模野学長

12.4 岡山御津高校カフェ準備会

12.6 県知事杯車イステニスニューミック



12.8~15 一般質問(11日に登壇)



12.12 岡山きょうだい会ミーティング 12.13 = 世代交流おかざりつくり

12.14 居場所カフェ@岡山御津高校



12.17 常任委員会、企業局のヒアリング、 STOP!性暴力の会

12.19 たねをまもる会おかやま勉強会 12.22 閉会日、長野県知事の講演

@気候変動対策議員ネットonline

12.27 学校給食の街頭署名@表町

12.5 加茂川ホリデイフォレスター、 傾聴研修会online

ス大会 立憲自治の会議座



12.11 フラワーデモ@岡山駅前





12.16 特別委員会、中国経産局へ請願提 出同行

12.23 主権者教育イベント@岡大附属中

おおつかあい・プロフィール 1974年1月10日生まれ。旭操小学校、 操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学 教育学部卒業。99年より福島県で農 業研修。4年間の大工修業の後、自宅 を建て、大工として働く。2011年3月福 島原発事故により一家で岡山に避難。 5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち 上げ、避難移住者のサポートや福島の 子ども達の保養受け入れなどを行う。北 区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。 2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員 大塚愛県政レポート[第17号] 発行: 2021年1月(2020年11月議会報告)

最新情報を発信しています

Facebook: ・みどり岡山

www.facebook.com/greenokavama 大塚愛

www.facebook.com/ohtsuka.ai.3 http://midori-okavama.org

[事務所]

p.04

には足りな

T:

マスクの1年

₹700-0971

岡山市北区野田5-8-11

Tel:086-244-7721

Fax:086-244-7724

e-mail:info@midori-okavama.org http://midori-okayama.org/ [自宅]

₹709-3122

岡山市北区建部町吉田321 携帯: 070-5056-3808

e-mail:ai.raku@shokan.ip



あい

人が集ま ることが制限

持していくの

かという工夫

や努力が求

められていま

す。

の花火大会や盆踊 り、秋の文化イベント やお祭りなどが中止 となり、四季の彩りが 褪せてしまったような 寂しさを感じる年で もありました。当たり 前にあった日常や人 とのふれあいの大切 さを改めて思うと同 時に、家庭で過ごす ことが増えて、家族と

される中、昨年は夏

見直した方も多いかもしれま「題も明らかになっています。

また、リモートワークや休 校により、女性の家事の負担 が増えたり、家庭内暴力(DV) や望まない妊娠の相談件数 が増えたり、孤立や失業によ る自殺が増えてしまうなど、特 に女性に負担が大きくなる問

県政レポート(2021年1月発行)[第17号]

いつば通信

P.02-03 障がいに配慮した高校教育を

P.01 コロナ禍の中で誰ひとり取り残さない繋がりを

P.02-03 おもな活動記録から「高校居場所カフェ|「より安全な学校給食を

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — /日々のうごき(2020年10月~2021年1月)

***** 春のお慶びを申し上 がます。

新型コロナの一早い終息 を願いつつ、皆さまの暮らしと 心が健やかであることをお祈 りいたします。

今年は実家に帰省できず、初めて自宅で年を越しました。

長男(中3)、長女(小5)、次女(年長)、夫(子年)と裏山の熊野

神社へ初詣。

昨年3月に県内で初めて感 染が確認されて以降、春には 数十名に抑えていた感染者 数も、夏以降は増え続け、この 冬には特に急増する状況に なりました。

感染増加 による医療 逼迫と営業 制限による経 済悪化、どち らも大変なり スクがある中 の時間や食生活を で、いかに感 染を抑えなが ら暮らしを維



ジョブカフェでは、マンツーマンの就職 回論回 相談や適正診断、面接の練習などを行 い、年間300名以上の方が就職決定 に繋がっています。(49才までが対象)

ソーシャルディスタンスとい う距離を乗り越えて、感染症 という見えない災禍の中で、誰 ひとり取り残さないセイフ ティーネットを築いていかなけ ればという思いを持って、新年 度の予算審議にも取り組ん でいきたいと思います。

Ohtsuka Ai "IPPO > TSUSHIN" [no.017] 2021.1

Ohtsuka Ai "IPPO > TSUSHIN" [no.017] 2021.1

岡山県議会議員/大塚愛県政レポート・第17号(2021年1月発行) p.02-03

11月議会の一般質問から (2020年12月11日)

障がいに配慮した高校教育を



議会質問の動画はこちら

特別支援教育に ついて

障害者差別解消法が2016年 ・に施行され、学校教育でもインク ルーシブ教育の推進に舵が切られた。発 達障がいなどの特性に配慮が必要な児童 生徒は過去10年間で2倍に増えており、高 校での学習や学校生活においても、特別支 援教育の観点をもちあわせる必要性が高 まっている。

クラス全員が受ける授業の中で、個々の 特性への配慮を組み込んだユニバーサル デザイン化が必要だが、どのように取り組む のか?

A [教育長]. 授業の流れを予め示したり、 ICTを使って視覚的に分かりやすい授業を



鍵本教育長の答弁では、個々の特性に配慮したユニバーサルデザイン型授業を行ってい る岡山御津高校などの先進事例を他校にも伝えていくとのこと。



体験、生徒さんも練習中です@早島支援学校

するなどの工夫をしている高校もある。こう した研究成果を冊子にまとめて紹介したり、 特別支援コーディネーターの研修を行い普 及していきたい。

中学校生活での対応や支援の • 情報が高校に伝達されずに、入 学後の高校で苦慮されている現状もある。 個別の教育支援計画の引継ぎ率をあげ、 特別な配慮が必要な生徒をちゃんと理解 するために、積極的なアセスメントと個別計

> 画策定を促 すことが必 要だが?

A[教育長]. 学校の管理 職や市町村 教育委員会 の研修で、

個別支援計画の作成や活用、引継ぎを進め ていくよう伝えている。今後も徹底を図って いきたい。

神奈川や大阪では、障がいのある 生徒が普通高校で学ぶことがで きるインクルーシブ教育を行っている。神奈 川県の事例からは、卒業生の4割が大学や 専門学校に進学しており、特別支援学校と 比べて学びの可能性が拡がったことが評価 されている。また、中学校で支援学級に所 属しながら、「なぜ自分だけ分けられたのか」 という納得のいかない寂しい気持ちを抱え ていた生徒も多い中、学校の一員として受け 入れられ、他の生徒と一緒に学校生活を送 ることができることが大きな意義だと感じる。 岡山県でもこのようなインクルーシブ教育の モデル校を設けてはどうか。

A[教育長]. 現時点でモデル校の設置は考 えていない。進路指導では、高校と特別支 援学校の教育内容の違いを十分に説明し て、よりよい選択ができるようにしている。

○[大塚・要望]. 支援学級に所属する生徒 にとって、高校への進学は悩ましく、選択肢 が限られている。神奈川県のような先進事 例について、ぜひ研究をしてほしい。

高校は特別支援教育の専門的 知識をもっている教員が少なく、教 員によっては合理的配慮*を「甘やかし」と 受け止める傾向もある。障がい特性への理 解や適する指導方法を身につけていただく には、特別支援学校との連携が鍵になると 思う。特別支援学校のセンター的機能の活 用によって、各高校で継続的な取り組みが できるよう体制を充実させてほしい。

A [教育長]. これまでも特別支援教育コー ディネーターを増やしてきたが、今後も人的 な配置や研修の充実、特別支援学校の体 制整備に取り組んでいきたい。

*『合理的配慮』とは?……障がいのある人とない人 が、平等な人権を得られるよう、一人ひとりの特徴 や障がいから生じる困難さを取り除く工夫を行うこ と。たとえば、教科書の読みあげ機能を使う、別室 でテストを受ける、盲導犬の補助を受けるなど。

教室内の合理的配慮例(県内の取組から)

県教委がパンフレットで示す合理的配慮の事例。ICTの活 用もしっかり進めてほしいところです。

発達障がい等の特性に対して十 • 分な対応が受けられず、登校や学 習が苦痛になって不登校になっている生徒 も多く、様々な話を聞いている。不登校の課 題を解決するには、個々の発達特性を理解 して適切な改善策をとることが必要だが?

A [教育長]. 不登校になる児童生徒の課題 に対応するために、特別支援教育の視点が 必要であることを研修で伝えたり、専門家を 交えたケース会議や校内研修を充実させて

香害について

柔軟剤や香りつき洗剤などの香り • で体調不良や化学物質過敏症を 発症する「香害」は、近年香りを長続きさせ る技術が使われ始め、問題が深刻になって いる。具合が悪くなる場所としては、乗り物 の中やお店、公共施設、職場などが多く、県 はこの問題を分かりやすく伝えるポスターを 新しく作成し、HPに掲載していただいたが、 公共交通機関や公共施設などへの掲示を 行ってはどうか。

A[保健福祉部長]. 今のところ掲示は考えて 進むよう努めたい。

困っている人がいます 香料等は、化学物質過敏症の 方にとっては、頭や目の痛み ◎ 整髪料 洗剤・ 柔軟剤 などの症状を誘発することも きますよう、お願いします。 当事者のご意見も取り入れて県が作成したポス

ター。県のHPからダウンロードできます。

いないが、市町村の協力も得ながら県民へ の啓発をしていきたい。

被災家屋の復旧 ノウハウについて

くのボランティアが協力した。また建築技術 をもつボランティア団体が協力したことで、住 宅の痛みを防ぐ作業が行え、被災者の助け となった。災害が多発する今日、コロナ禍で は県外からのボランティアも限られる。平常 時から被災住宅の復旧方法を理解しておく ことが重要だが、それらを伝える研修会を 行ってはどうか。

A[土木部長]. 県では岡山県建設労働組合 等と協定を結び、被災住宅の応急修理がで きる事業者の確保をしているところ。これら の団体の研修会やボランティア対象の研 修会で、被災住宅の復旧ノウハウの周知が

高校居場所カフェ

@岡山御津高校 (12月14日)

居場所カフェとは、地域の大人が高校の中で運営するカフェで、学校で も家でもない「第三の居場所」としてリラッ クスできたり、悩みや困りごとを気軽に相談 できたりする場として、この10年間に全国で 50か所以上開設されています。

今年は新型コロナの影響も心配される

校でもそんな カフェが出来 たら…と、一 般社団法人 ぐるーん(私も その一員です) と先生方が 夏から話し合 いを続け、開 催にこぎつけ



定。月に数回、定期開催して

おもな「活動記録 | から

ることができました。

ドキドキして迎えた初回は、沢山の生徒 さんが来てくれて、「楽しかった、また来た い」と嬉しい感想が寄せられました。

フードバンクや大学生、NPOなどの協 力もいただきながら、高校生と地域の大人 のゆるやかな交流の場をじっくり作ってい けたらと思います。

たねをまもる会おかやま

(10月23日、11月3、17、24日)

▲ 月の県議会では、「地域循環型の より安全な学校給食に関する支 援要望」の陳情が採択されました。今後 は、学校給食の実施者である市(岡山・倉 敷・総社)に対して、署名を届けていこうと活 動しています。12月には岡山市議会の浦 上議長や子ども文教委員会の議員の方達 とも意見交換させていただきました。コスト や安定供給という課題もありますが、他県 では自治体が補助して地元産小麦や有機 米を給食で使う動きも増えています。

種の勉強会では、植物遺伝育種学専 門の村松幹夫先生に、セトキララ(岡山産パ ン用小麦)誕生のストーリーやご自身が100 系統もの麦を栽培されているお話、新品 種が出来るまでには大変な研究の努力が あることなどをお聞きし、勉強させていただ きました。



地元産小麦を使うことに、浦上議長も大替成との ことで大きな励みに@岡山市議会議長室